

平成 25 年 8 月 6 日
内 閣 府
原 子 力 政 策 担 当 室

**アジア原子力協力フォーラム（FNCA）
「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」
第 5 回会合開催について（案）**

平成 25 年 8 月 22 日（木）～8 月 23 日（金）、三田共用会議所（東京都港区）にて、アジア原子力協力フォーラム（FNCA）「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」第 5 回会合を下記のとおり開催する。

今次会合では、中小型炉開発、緊急時対応・準備における地域協力、核セキュリティ、ステークホルダーインボルブメント等について議論し、東京電力福島第一原子力発電所の現況と今後、事故後の日本における安全の取組について情報提供する予定。

記

1. 主 催 内閣府、原子力委員会
2. 開催日 平成 25 年 8 月 22 日（木）～8 月 23 日（金）
 （8 月 21 日に東京電力福島第一原子力発電所の現地視察を実施）
3. 開催場所 東京（三田共用会議所 国際会議室（3 階））（地図別添）
4. 参加予定国
 バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、
 モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム

※我が国からは、近藤駿介原子力委員会委員長及び原子力委員会各委員、尾本彰国立大学法人東京工業大学特任教授、町末男 FNCA 日本コーディネーター、関係省庁等が出席予定。また、IAEA から講演予定。

以上

アジア原子力協力フォーラム（FNCA）
「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」
第5回会合プログラム

日 付：平成25年8月22日（木）－23日（金）
場 所：三田共用会議所
主 催：内閣府、原子力委員会

平成25年8月22日（木）

プレスオープン部分（9：30～10：10）

記念撮影

セッション1：開会

- ・開会歓迎挨拶（尾本 彰 会合議長）
- ・参加者自己紹介
- ・アジェンダ採択

セッション2：東京電力福島第一原子力発電所の現況と今後

セッション3：東京電力福島第一原子力発電所事故後の安全の取組

セッション4：中小型炉開発

セッション5：緊急時対応・準備における地域協力

平成25年8月23日（金）

セッション6：核セキュリティ

セッション7：ステークホルダーインボルブメント

セッション8：パネル会合の今後の計画

セッション9：今次パネル会合の総括と第14回大臣級会合向け報告案

セッション10：閉会

※現時点の内容であり、各国等との調整によりプログラムを変更することがある。

※8月21日に東京電力福島第一原子力発電所の現地視察を行う予定。

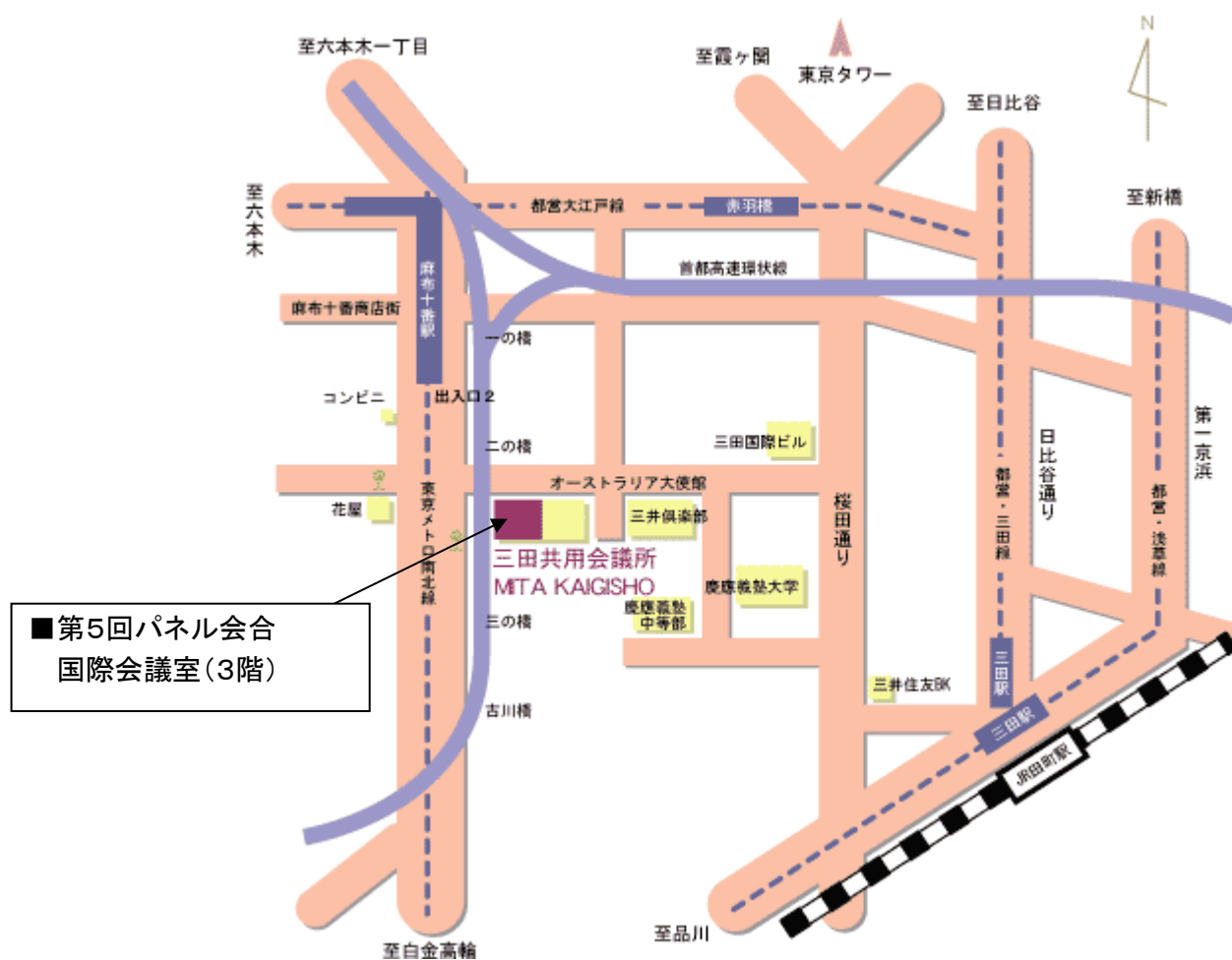
会場地図

場所:三田共用会議所 国際会議室(3階)

【交通手段】:(地下鉄)

東京メトロ 南北線 麻布十番駅下車 2番出口より徒歩5分

都営地下鉄 大江戸線 麻布十番駅下車 2番出口より徒歩7分



アジア原子力協力フォーラム (FNCA)
「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」
第5回会合
出席者一覧

【海外出席者】

① バングラデシュ

- 1) Mr. Faisal KABIR (ファイサル・カビール)
バングラデシュ原子力委員会 (BAEC) 国際部 主席医務官
- 2) Mr. Md. Hasinur RAHMAN (モハメド・ハシヌル・ラーマン)
バングラデシュ原子力委員会 (BAEC) 原子力発電・エネルギー部
主任科学官

② 中国

- 1) Mr. LONG Maoxiong (ロン・マオション)
中国核能行業協会 (CNEA) 副事務局長

③ インドネシア

- 1) Mr. Falconi M. SOETARTO (ファルコーニ・M・ソエタルト)
インドネシア原子力庁 (BATAN) 副長官 (研究開発成果利用・原子力科学技術
広報担当)
- 2) Dr. Syahrir (シャフリール)
インドネシア原子力庁 (BATAN) 安全・環境部 部長

④ カザフスタン

- 1) Dr. Erlan G. BATYRBKOV (エルラン・G・バティルベコフ)
カザフスタン国立原子力研究所 (NNC) 総裁
- 2) Dr. Natalya ZHDANOVA (ナターリヤ・ズダノワ)
カザフスタン原子力学会協会 理事長

⑤ 韓国

- 1) 調整中
- 2) 調整中

⑥ マレーシア

- 1) Dr. Muhd Noor Bin MUHD YUNUS (モハメド・ノール・ビン・モハメド・ユヌス)
マレーシア原子力庁 副長官 (研究技術開発プログラム部門)
- 2) Dr. Mohd Zamzam Bin JAAFAR (モハメド・ザムザム・ビン・ジャファー)
マレーシア原子力発電公社 (MNPC) CEO

⑦ モンゴル

- 1) Prof. Dr. Davaa SUREN (ダヴァア・シュレン)
モンゴル国立大学 原子力研究センター センター長
- 2) Dr. Orlokh DORJKHAIDAV (オルロク・ドルジカイダフ)
モンゴル原子力庁 (NEA) 放射線管理室 室長

⑧ フィリピン

- 1) Dr. Alumanda M. DELA ROSA (アルマンダ・M・デラ・ローサ)
フィリピン原子力研究所 (PNRI) 所長
- 2) Dr. Christina A. PETRACHE (クリスティーナ・A・ペトラチェ)
フィリピン原子力研究所 (PNRI) 主席科学研究専門官

⑨ タイ

- 1) Dr. Somporn CHONGKUM (ソンポーン・チョンクム)
タイ原子力技術研究所 (TINT) 所長
- 2) Ms. Kanchalika DECHATES (カンチャリカ・デチャテス)
タイ原子力技術研究所 (TINT) 国際部 部長

⑩ ベトナム

- 1) Dr. CAO Dinh Thanh (カオ・ディン・タン)
ベトナム原子力研究所 (VINATOM) 副所長
- 2) Ms. DOAN Thi Thu Huong (ドアン・チー・スー・フォン)
ベトナム原子力研究所 (VINATOM) 国際部 専門官

⑪ IAEA 他

- 1) Mr. Paul Woodhouse (ポール・ウッドハウス)
国際原子力機関 (IAEA) / アジア原子力安全ネットワーク (ANSN)
プログラムマネジャー
原子力安全・核セキュリティ調整課長
- 2) Mr. Miroslav GREGORIC (ミロ斯拉ブ・グレゴリッチ)
コンサルタント
元国際原子力機関 (IAEA) 核セキュリティ室 防止課 課長

【国内出席者】

- ① 尾本 彰 (会合議長)
国立大学法人東京工業大学 特任教授
- ② 町 末男 (FNCA 日本コーディネーター)
独立行政法人日本原子力研究開発機構 フェロー
- ③ 外務省 軍縮不拡散・科学部国際原子力協力室
- ④ 経済産業省 資源エネルギー庁 原子力政策課

- ⑤ 新川 達也
経済産業省 資源エネルギー庁 原子力政策課 原子力発電所事故収束対応室
室長
- ⑥ 田口 達也
原子力規制委員会 原子力規制庁 技術基盤課 課長補佐
- ⑦ 千崎 雅生
独立行政法人日本原子力研究開発機構 核不拡散・核セキュリティ総合支援
センター センター長
- ⑧ 小川 益郎
独立行政法人日本原子力研究開発機構 原子力水素・熱利用研究センター
センター長
- ⑨ 立崎 英夫
独立行政法人放射線医学総合研究所 REMAT 医療室 室長
- ⑩ 白柳 春信
世界原子力発電事業者協会 東京センター 事務局長
- ⑪ 松井 一秋
一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
- ⑫ 倉田 聡
一般社団法人原子力安全推進協会 執行役員 安全性向上部長

○その他に、近藤駿介原子力委員会委員長並びに原子力委員会各委員、関係省庁等が出席予定。

○上記は平成25年8月5日現在のものであり、今後変更されることがあります。

アジア原子力協力フォーラム (FNCA : Forum for Nuclear Cooperation in Asia) の概要

1. 概要及び目的

積極的な地域のパートナーシップを通して、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的発展を促進することを目指す。

2. 参加国

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、日本、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナムの全12か国（この他にIAEAがオブザーバー参加）

3. 経緯

原子力委員会が主催し開催してきた、近隣アジア諸国の原子力関係者が一堂に会し、情報交換及び地域協力のあり方を議論する場であった「アジア地域原子力協力国際会議」を発展的に改組し、平成11年4月に「アジア原子力協力フォーラム」が発足した。

<原子力政策大綱における位置付け（アジア諸国との協力部分）>

我が国が主体的・能動的に協力を行う国・地域は、地政学的にも経済的にも緊密な関係を有するアジアを中心とする。（略）これらの協力に当たっては、相手国の自主性を重んじ、パートナーシップに基づくことを基本として、例えばアジア原子力協力フォーラム（FNCA）、IAEAのアジア原子力地域協力協定（RCA）といった多国間の枠組みや、二国間及び国際機関を通じた枠組みを目的に応じて効果的に利用することが適切である。

（参考）「アジア地域原子力協力国際会議」は平成2年、アジア地域での放射線利用や研究炉での利用の推進に貢献するために、日本主導で設立された。平成10年、これまでの協力活動全体を総括し、内外との連絡・調整を行う「コーディネーター」を各国から選任し、その下で専門的見地から活動する「プロジェクトリーダー」を協力分野ごとに選任し、より組織的な協力活動を進めることのできるFNCA新体制に移行した。

4. 枠組み

(1) 大臣級会合

各国の原子力を所管する大臣級代表が出席して、原子力技術の平和利用に関する地域協力のための政策対話を行う。なお、大臣級会合を補佐するための上級行政官会合を付設。日本と参加国で交互に毎年1回開催。

(開催実績)

- 第1回大臣級会合：平成12年11月（タイ）大島科学技術庁長官出席
テーマ：「原子力利用の推進」、「原子力安全」、「地域原子力協力の推進」
- 第2回大臣級会合：平成13年11月（東京）尾身科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「持続可能な発展と原子力」、「放射線利用分野における協力のあり方」
- 第3回大臣級会合：平成14年10月（韓国）細田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「人材養成戦略」、「持続可能な発展と原子力」
- 第4回大臣級会合：平成15年12月（沖縄）茂木科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「放射線・ラジオアイソトープ利用の社会・経済的効果の増大」
「持続可能な発展と原子力エネルギー」
- 第5回大臣級会合：平成16年12月（ベトナム）棚橋科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「FNCAの今後のあり方」
- 第6回大臣級会合：平成17年12月（東京）松田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「科学技術と原子力」
- 第7回大臣級会合：平成18年11月（マレーシア）平沢内閣府副大臣出席
テーマ：「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」
「原子力エネルギーの広報」
- 第8回大臣級会合：平成19年12月（東京）岸田科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「原子力エネルギーの平和利用への取組みとFNCA活動」
「放射線利用を中心としたFNCA活動」
- 第9回大臣級会合：平成20年11月（フィリピン）増原内閣府副大臣出席
テーマ：「原子力発電の基盤整備のための協力」
「放射線利用のさらなる促進のための協力」
- 第10回大臣級会合：平成21年12月（東京）菅科学技術政策担当大臣出席
テーマ：「原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力」
「放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力」
- 第11回大臣級会合：平成22年11月（中国）和田内閣府大臣政務官出席
テーマ：「原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力」
「放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力」
- 第12回大臣級会合：平成23年12月（東京）
細野内閣府特命担当大臣、中塚内閣府副大臣出席
テーマ：「基盤整備（人材養成と広報）」
「放射線・アイソトープ応用促進のための協力」
- 第13回大臣級会合：平成24年11月（インドネシア）
白眞勲内閣府副大臣出席
テーマ：「FNCAの役割」

(2) コーディネーターとコーディネーター会合

自国における FNCA プロジェクトの実施に責任を持つとともに、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う役割を持つコーディネーターが各国から1名選任されている。プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画を討議するため、コーディネーター会合を年1回日本で開催。日本のコーディネーターは町末男元原子力委員会委員。

(開催実績)

○第 1 回	コーディネーター会合	平成 12 年 3 月	東京
○第 2 回	コーディネーター会合	平成 13 年 3 月	東京
○第 3 回	コーディネーター会合	平成 14 年 3 月	東京
○第 4 回	コーディネーター会合	平成 15 年 3 月	沖縄
○第 5 回	コーディネーター会合	平成 16 年 3 月	東京
○第 6 回	コーディネーター会合	平成 17 年 3 月	東京
○第 7 回	コーディネーター会合	平成 18 年 3 月	東京
○第 8 回	コーディネーター会合	平成 19 年 2 月	東京
○第 9 回	コーディネーター会合	平成 20 年 3 月	東京
○第 10 回	コーディネーター会合	平成 21 年 3 月	東京
○第 11 回	コーディネーター会合	平成 22 年 3 月	東京
○第 12 回	コーディネーター会合	平成 23 年 3 月	福井 (中止)
○第 13 回	コーディネーター会合	平成 24 年 3 月	福井
○第 14 回	コーディネーター会合	平成 25 年 3 月	東京

(3) 「検討パネル」

平成 16 年から平成 18 年の 3 か年間「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」検討パネル (第 1 フェーズ) を開催し、アジア地域における長期的な環境問題への対応やエネルギー資源の確保の面から原子力エネルギーの役割を評価した。

その結果を受け、第 2 フェーズとして平成 19 年から平成 20 年の 2 か年間「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」を開催し、1) 原子力発電分野における人材養成、2) 原子力発電にかかわる安全確保のための基盤整備について議論を行なった。平成 20 年 11 月にマニラで開催された第 9 回 FNCA 大臣級会合では、第 3 フェーズとして平成 21 年から「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」を開催することが決定された。

(開催実績)

■第 1 フェーズ

「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割検討パネル」

○第 1 回	パネル会合	平成 16 年 10 月	東京
○第 2 回	パネル会合	平成 18 年 1 月	東京
○第 3 回	パネル会合	平成 18 年 11 月	敦賀

■第2フェーズ

「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」

○第1回 パネル会合 平成19年10月 東京

○第2回 パネル会合 平成20年 9月 東京

■第3フェーズ

「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」

○第1回 パネル会合 平成21年7月30日、31日 東京

議長：伊藤 隆彦 原子力委員会委員

○第2回 パネル会合 平成22年7月1日、2日 韓国

共同議長：尾本 彰 原子力委員会委員

Mr. SHIN Jae Sik (シン・ゼシク) 韓国教育科学技術部 (MEST)

原子力局 原子力協力課長

○第3回 パネル会合 平成23年7月5日、6日 インドネシア

共同議長：尾本 彰 原子力委員会委員

Dr. Taswanda TARYO (タスワンダ・タリヨ)

インドネシア原子力庁 (BATAN) 次官 (研究開発研究成果利用・
原子力科学技術広報担当)

○第4回 パネル会合 平成24年7月26日、27日 タイ

共同議長：尾本 彰 原子力委員会委員

Dr. Kurujit NAKORNTHAP (クルジット・ナコーンタップ)

タイ エネルギー省事務次官補

○第5回 パネル会合 平成25年8月22日、23日 東京 (今回)

議長：尾本 彰 国立大学法人東京工業大学 特任教授

(4) 個別プロジェクトについての協力活動

FNCA は、放射線利用開発、研究炉利用開発、原子力安全強化、原子力基盤強化の分野で10のプロジェクトを展開している。プロジェクト毎に各国1名のプロジェクトリーダーが任命されている。各参加国のプロジェクトリーダーは、自国におけるプロジェクト活動を実施していく責任を有する。プロジェクト毎に、通常年1回のワークショップ等を開催し、それぞれの国の進捗状況と成果を発表・討議して、次期実施計画を策定する。

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の構成

